

使っている花 ■ マリーゴールド
(ジャイアントオレンジ)、リコリス(オーレア)、ガーベラ(バスターニパルマ)



10月
October



マリーゴールド

花言葉 可憐な愛情 / 健康 / 真心

鮮やかな色合いとハーバルな香りも魅力
古代エジプトでは「若返りの花」とも

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花首のしっかりした、花びらにシミがないものを選びましょう。
- 切り花栄養剤を使うと、つぼみも開花しやすくなります。
- 葉が傷んできたら、早めに取り除きましょう。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① マリーゴールドはスプレー状の茎を小分けにカットします。
- ② 少し高さのある花器にバランスよくいけるには、器の高さの約2倍の長さを目安にするとよいでしょう。マリーゴールド、リコリス、ガーベラを、横並びになりすぎないようにやや高低差をつけてランダムにいけていきます。マリーゴールドの葉も生かしましょう。
- ③ ポットのような背の低い器には、短くカットしたそれぞれの花を、小さくこんもりと可愛らしくあしらいます。こっくりした秋色の花々はおもしろい!

聖母マリアの黄金の花

世界中の花壇で親しまれるメキシコ原産の花。様々な国や宗教と縁が深く、メキシコの祝祭「死者の日」は街中がマリーゴールドで埋めつくされます。切り花では、輪が大きく丈も長いジャイアントタイプが用途も広く人気。園芸では、防虫効果が高いコンパニオンプランツとして活躍します。花期が長いことから和名は「千寿菊」。

